職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月	引日 校士	長名			所在地							
日本工学院専門	門学校	昭和51年7月	1日 中村	英詞	(住所)	144-8655 東京都大田区西蒲田	5-23-22							
設置者名		設立認可年月	月日 代表	者名	(電話)	03-3732-1111	所在地							
学校法人片柳:	学園	昭和25年3月	1日 千葉	Ĕ茂		144-8655 東京都大田区西蒲田	5-23-22							
分野	認定	課程名	認定学科名	7	(電話)	03-6424-1111 門士認定年度	24-1111 				3-6424-1111 士認定年度 高度専門士認定年度			専門課程認定年度
工業		門課程	情報ビジネス			戊21(2009)年度	-			26(2014)年度				
学科の目的			! 科目を用意し、またショ ・遇の知識を軸とした、名			サービス、会計、ホテル、 材を育成します。	観光など多彩な分野の	の専門科目	も用意。自分	分の将来設計のた				
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	サービス接遇検	定2級、秘書検定	?、ビジネス能力検定、第	簙記検定										
修業年限	昼夜		な総授業時数又は総 立数	講	義	演習	実習	実懸	澰	実技				
2		位時間、単位いずれ	1,700 単位時間	2,340	単位時間	単位時間	1,935 単位時間	ì	単位時間	単位時間				
年	がに かに	記入	単位		単位	単位	単位	ì	単位	単位				
生徒総定員	生徒実員(A) 留学生	数 (生徒実員の内数)(B)	留学生害	引合(B/A)									
160 人	91 人		14 人	15	%									
	■卒業者数(0		48	ļ	人	. -								
	■就職希望者 ■就職者数(E		48 48		ᆺ	=								
	■地元就職者	·数(F)	34		Ì	- -								
	■就職率(E/I		100	-	%	-								
		める地元就職者の	71		%	_								
	■卒業者に占め	める就職者の割合												
	■進学者数		100		人	=								
就職等の状況	■その他					=								
	(令和	6 年度卒業者	fに関する令和7年5月:	1 日時点の作	青報)									
	^{(令和} ■ 主な就職先		行に関する令和7年5月	1 日時点の情	青報)									
	■主な就職先 (令和6年度卒業	、業界等 生)												
	■主な就職先 (令和6年度卒業 株式会社AOK	、業界等 生)				JALグランドサービス、 <i>t</i>	株式会社ミリアルリン	ブートホテル	レズ、株式3	会社星野リゾート・				
	■主な就職先 (令和6年度卒業 株式会社AOK マネジメント	、業界等 生) Iホールディング	す、株式会社ニュー・				株式会社ミリアルリン	ブートホテハ	レズ、株式슄	会社星野リゾート・				
第三者による	■主な就職先 (令和6年度卒業 株式会社AOK マネジメント ■民間の評価	、業界等 生)	す、株式会社ニュー・			JALグランドサービス、1 無	株式会社ミリアルリン	ゾートホテ ル	レズ、株式3	会社星野リゾート・				
第三者による 学校評価	■主な就職先 (令和6年度卒業 株式会社AOK マネジメント ■民間の評価 ※有の場合、例え	、業界等 ^{生)} Iホールディング 機関等から第三	す、株式会社ニュー・ :者評価 : 意記載			無 評値	亜結果を掲載した	ゾ ー トホテル	レズ、株式st 	会社星野リゾート・				
学校評価当該学科の	■主な就職先 (令和6年度卒業 株式会社AOK マネジメント ■民間の評価 ※有の場合、例え	、業界等生) はホールディング 機関等から第三 はは以下について任	す、株式会社ニュー・ : 者評価 : 意記載	オータニ、 受審年月:		無 評値		ブー トホテル	レズ、株式3	会社星野リゾート・				
学校評価	■主な就職先 (令和6年度卒業 株式会社AOK マネジメント ■民間の評価 ※有の場合、例え	、業界等生) はホールディング 機関等から第三 はは以下について任	す、株式会社ニュー・ :者評価 : 意記載	オータニ、 受審年月:		無 評値	亜結果を掲載した	 ブートホテル	レズ、株式会	会社星野リゾート・				
学校評価 当該学科の ホームページ	■主な就職先 (令和6年度卒業 株式会社AOK マネジメント ■民間の評価 ※有の場合、例え	、業界等 生) Iホールディング 機関等から第三 にば以下について任 団体: eec.ac.jp/departi	す、株式会社ニュー・ : 者評価 : 意記載	オータニ、 受審年月:		無 評値	亜結果を掲載した	ゾートホテ ル	レズ、株式3	会社星野リゾート・				
学校評価 当該学科の ホームページ	■主な就職先 (令和6年度卒業 株式会社AOK マネジメント ■民間の評価 ※有の場合、例刻 評価III	、業界等 生) Iホールディング 機関等から第三 にば以下について任 団体: eec.ac.jp/departi	す、株式会社ニュー・ : 者評価 : 意記載	オータニ、 受審年月:		無 評値	亜結果を掲載した		レズ、株式会	会社星野リゾート・				
学校評価 当該学科の ホームページ	■主な就職先 (令和6年度卒業 株式会社AOK マネジメント ■民間の評価 ※有の場合、例刻 評価III	、業界等 生) Iホールディング 機関等から第三 td以下について任 団体: eec.ac.jp/departu	す、株式会社ニュー・ : 者評価 : 意記載	オータニ、 受審年月: s/	株式会社	無 評値	亜結果を掲載した	4, 500 à		会社星野リゾート・				
学校評価 当該学科の ホームページ	■主な就職先 (令和6年度卒業 株式会社AOK マネジメント ■民間の評価 ※有の場合、例刻 評価III	、業界等 生) Iホールディング 機関等から第三 にば以下について任 団体: ecc.ac.jp/departs ポによる算定) 業時数 うち企業等	す、株式会社ニュー・ : 者評価 : 意記載 ment/design/graphic:	オータニ、 受審年月: s/	株式会社	無 評値	亜結果を掲載した	4, 500 ± 2, 520 ±	単位時間	会社星野リゾート・				
学校評価 当該学科の ホームページ	■主な就職先 (令和6年度卒業 株式会社AOK マネジメント ■民間の評価 ※有の場合、例刻 評価III	、業界等 生) Iホールディング 機関等から第三 にば以下について任 団体: ecc.ac.jp/departs ポによる算定) 業時数 うち企業等	す、株式会社ニュー・ 者評価: 意記載 ment/design/graphic: 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授	オータニ、 受審年月: s/	株式会社	無 評値	亜結果を掲載した	4, 500 ± 2, 520 ±	単位時間	会社星野リゾート・				
学校評価 当該学科の ホームページ	■主な就職先 (令和6年度卒業 株式会社AOK マネジメント ■民間の評価 ※有の場合、例刻 評価III	、業界等 生) Iホールディング 機関等から第三 には以下について任 団体: eec.ac.jp/departr Iによる算定) 業時数 うち企業等 うち企業等	す、株式会社ニュー・ 者評価: 意記載 ment/design/graphic: 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授	オータニ、 受審年月: s/ 習・実技の4 業時数	株式会社、	無評価	亜結果を掲載した	4, 500 à 2, 520 à à 1, 700 à	単位時間単位時間単位時間	会社星野リゾート・				
学校評価 当該学科の ホームページ URL	■主な就職先 (令和6年度卒業 株式会社AOK マネジメント ■民間の評価 ※有の場合、例が 評価I http://www.ne	、業界等 生) Iホールディング 機関等から第三 には以下について任 団体: eec.ac.jp/departr Iによる算定) 業時数 うち企業等 うち企業等	す、株式会社ニュー・ 者評価: 意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要	オータニ、 受審年月: s/ 習・実技の 業時数	株式会社、授業時数	無 評価 ホー 実技の授業時数	亜結果を掲載した	4, 500 ± 2, 520 ± 1, 700 ± ±	単位時間単位時間単位時間	会社星野リゾート・				
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	■主な就職先 (令和6年度卒業 株式会社AOK マネジメント ■民間の評価 ※有の場合、例が PM価I http://www.ne	、業界等 生) Iホールディング 機関等から第三 には以下について任 団体: eec.ac.jp/departi による算定) 業時数 うち企業等 うち必修招	す、株式会社ニュー・ :者評価: 意記載 ment/design/graphic: 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携した	オータニ、 受審年月: s/ 習・実技の 業時数 に必修の実際	株式会社・授業時数 ・実習・野の授業時	無 評価 ホー 実技の授業時数 数	亜結果を掲載した	4, 500 å 2, 520 å 1, 700 å	単位時間単位時間単位時間単位時間	会社星野リゾート・				
学校評価 当該字科の ホームページ URL 企業等をと連携した況 (A、Bいずれか	■主な就職先 (令和6年度卒業 株式会社AOK マネジメント ■民間の評価 ※有の場合、例が 評価に http://www.ne	、業界等 生) Iホールディング 機関等から第三 Eは以下について任 団体: ecc.ac.jp/departr Iによる算定) 業時数 うち企業等 うち必修打	す、株式会社ニュー・ 者評価: 意記載 ment/design/graphic: 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	オータニ、 受審年月: s/ 習・実技の 業時数 に必修の実際	株式会社・授業時数 ・実習・野の授業時	無 評価 ホー 実技の授業時数 数	亜結果を掲載した	4, 500 å 2, 520 å 1, 700 å	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	会社星野リゾート・				
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	■主な就職先 (令和6年度卒業 株式会社AOK マネジメント ■民間の評価 ※有の場合、例が が有の場合、例が には、「は、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、、、、、、、、、	、業界等 生) Iホールディング 機関等から第三 には以下について任 団体: dec.ac.jp/departr による算定) 業時数 うち企業等 うち必修打	す、株式会社ニュー・ 者評価: 意記載 ment/design/graphic: 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	オータニ、 受審年月: s/ 習・実技の 業時数 に必修の実際	株式会社・授業時数 ・実習・野の授業時	無 評価 ホー 実技の授業時数 数	亜結果を掲載した	4, 500 à 2, 520 à 1, 700 à à à 2, 520 à 1	単位時間単位時間単位時間間単位時間間単位時間間	会社星野リゾート・				
学校評価 当該字科の ホームページ URL 企業等をと連携した況 (A、Bいずれか	■主な就職先 (令和6年度卒業 株式会社AOK マネジメント ■民間の評価 ※有の場合、例が が有の場合、例が には、「は、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、、、、、、、、、	、業界等 生) Iホールディング 機関等から第三 には以下について任 団体: eec.ac.jp/departr による算定) 業時数 うち企業等 うち必修打	す、株式会社ニュー・ 者評価: 意記載 ment/design/graphic: 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	オータニ、 受審年月: 家/ 習・実技の打業時数 こ必修の実際 に必修の演	株式会社・ 授業時数 験・実習・ 財子 の授業時数	無 評価 ホー 実技の授業時数 数	亜結果を掲載した	4, 500 ± 2, 520 ± 1, 700 ± ± 2, 520 ± 2, 520 ± - ± ± 1, 700 ± 1, 7	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	会社星野リゾート・				
学校評価 当該字科の ホームページ URL 企業等をと連携した況 (A、Bいずれか	■主な就職先 (令和6年度卒業 株式会社AOK マネジメント ■民間の評価 ※有の場合、例が が有の場合、例が には、「は、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、、、、、、、、、	、業界等 生) Iホールディング 機関等から第三 はば以下について任 団体: ec.ac.jp/departe 同による算定) 業時数 うち企業等 うち必修打	す、株式会社ニュー・ :者評価: 意記載 ment/design/graphic: 等と連携した実験・実行 等と連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター ***	オータニ、 受審年月: s/ 習・実技の1 業時数 に必修の実際 ニンシップの 習・実技の1	株式会社・ 授業時数 験・実習・ 財子 の授業時数	無 評価 ホー 実技の授業時数 数	亜結果を掲載した	4, 500 ± 2, 520 ± 1, 700 ± ± 2, 520 ± 2, 520 ± - ± - ± - ± 1	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	会社星野リゾート・				
学校評価 当該字科の ホームページ URL 企業等をと連携した況 (A、Bいずれか	■主な就職先 (令和6年度卒業 株式会社AOK マネジメント ■民間の評価 ※有の場合、例が が有の場合、例が には、「は、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、、、、、、、、、	、業界等 生) Iホールディング 機関等から第三 はば以下について任 団体: ec.ac.jp/departe 同による算定) 業時数 うち企業等 うち必修打	す、株式会社ニュー・ 語記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター 等と連携した実験・実 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授	オータニ、 受審年月: s/ 習・実技の1 業時数 に必修の実際 ニンシップの 習・実技の1	株式会社・ 授業時数 験・実習・ 財子 の授業時数	無 評価 ホー 実技の授業時数 数		4, 500 å 2, 520 å 1, 700 å å 2, 520 å - å - å - å	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	会社星野リゾート・				
学校評価 当該字科の ホームページ URL 企業等をと連携した況 (A、Bいずれか	■主な就職先 (令和6年度卒業 株式会社AOK マネジメント ■民間の評価 ※有の場合、例が が有の場合、例が には、「は、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、、、、、、、、、	、業界等 生) Iホールディング 機関等から第三 注ば以下について任 団体: ec.ac.jp/departs による算定) 業時数 うち企業等 うち必修打 こよる算定) 素時数	す、株式会社ニュー・ 意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター 等と連携した演習の授 要等と連携した演習の授 要等と連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携した	オータニ、 受審年月: s/ 習・実技の1 業時数 ニンシップの 当・実技の2 業時数	株式会社、 授業時数 ・実授業時数 で授業時数 授業・実数 ・実際ので表する。	無 評価 ホー 実技の授業時数 数)		4, 500 ± 2, 520 ± 1, 700 ± ± 2, 520 ± 2, 520 ± - ± - ± - ± - ± - ± - ± - ± - ± - ±	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	会社星野リゾート・				
学校評価 当該字科のホームページ URL 企業等をの実施状か (A、Bいずれか	■主な就職先 (令和6年度卒業 株式会社AOK マネジメント ■民間の評価 ※有の場合、例が が有の場合、例が には、「は、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、、、、、、、、、	、業界等 生) Iホールディング 機関等から第三 には以下について任 団体: ec.ac.jp/departs による算定) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	す、株式会社ニュー・ ・ 意記載 ment/design/graphics 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 要業等数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した を連携した演習の授 要集時数 うち企業等と連携した を連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携した を連携した演習の授 の授 の授 の表	オータニ、 受審年月: s/ 習・実技の 業時数 こ必修の実! ニンシップの 音楽時数	株式会社、 授業時数 受業時数 受業時数 受業時数 ・実授業等数	無 評価 ボー 実技の授業時数 数) 実技の授業時数 数		4, 500 å 2, 520 å 1, 700 å å 2, 520 å - å - å - å - å - å	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	会社星野リゾート・				
学校評価 当該字科のホームページ URL 企業等をの実施状か (A、Bいずれか	■主な就職先 (令和6年度卒業 株式会社AOK マネジメント ■民間の評価 ※有の場合、例が が有の場合、例が には、「は、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、、、、、、、、、	、業界等 生) Iホールディング 機関等から第三 には以下について任 団体: ec.ac.jp/departs による算定) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	す、株式会社ニュー・ 意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター 等と連携した演習の授 要等と連携した演習の授 要等と連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携した	オータニ、 受審年月: s/ 習・実技の 業時数 こ必修の実! ニンシップの 音楽時数	株式会社、 授業時数 受業時数 受業時数 受業時数 ・実授業等数	無 評価 ボー 実技の授業時数 数) 実技の授業時数 数		4, 500 å 2, 520 å 1, 700 å å 2, 520 å - å - å - å - å - å	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	会社星野リゾート・				
学校評価 当該字科の ホームページ URL 企業等をと連携した況 (A、Bいずれか	■主な就職先 (令和6年度卒業 株式会社AOK マネジメント ■民間の評価 ※ A に (A :単位 総授	、業界等 生) Iホールディング 機関等から第三 はば以下について任 団体: ecc.ac.jp/departe 別による算定) 業時数 うち企業等 うち必修打 (うち企業 うちのを表 うちの修打 (うち企業)	す、株式会社ニュー・ 意記載 ment/design/graphics 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携した演習の授 要と連携した実験・実 等と連携した実験・実 等と連携したでと連携した うち企業等と連携した ラち企業等と連携した で表習の授 の授 の授 の表記 の表記 の表記 の表記 の表記 の表記 の表記 の表記	オータニ、 受審年月: 家/ 習・実技の打工 ・ 実技の ・ 実 ・ 変数 ・ と必修の の 演 ・ で ・ と必修の で 演 ・ で ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と	株式会社. 授業時数 授業時数 受業時数 授業時数 受機業時数 で授業時数	無 評価 ボー 実技の授業時数 数) 実技の授業時数 数		4, 500 å 2, 520 å 1, 700 å å 2, 520 å - å - å - å - å - å	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	会社星野リゾート・				
学校評価 当該字科の ホームページ URL 企業等をと連携した況 (A、Bいずれか	■主な就職先 (令和6年度卒業 株式会社AOK マネジメント ■民間の事で例が ※ 有の場合 ※ 有の場合 ※ 有の場合 ※ 日位 総授	、業界等 生) Iホールディング 機関等から第三 には以下について任 団体: ec.ac.jp/departs による算定) 業時数 うち企業等 うち必修打 (うち企業 等数) うち企業等 である。 ままる第次 である。 ままる第次 である。 ままる第次 である。 ままる第次 である。 ままる第次 である。	す、株式会社ニュー・ 意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携した ま等と連携したインター を連携した演習の授 要等と連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した で表別で表別である。 「まな、一方をできる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方でできる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「まな、一方できる。 「な、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で	オータニ、 受審年月: s/ 習・実技の 業時数 こ必修の実実 に必修の演 ーンシップ でに必修の演 ーンシップ でで必修ので でのである。	株式会社. 授業時数 受業時数 受業時数 受業時数 受業時数 で授業時数	無 評価 ボー 対	新結果を掲載した ームページURL	4, 500 à 2, 520 à à 1, 700 à à à 2, 520 à à 2, 520 à à 1, 700 à 1,	単位時間 単位時間 単位時間 間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間	会社星野リゾート・				
学校評価 当該字科の ホームページ URL 企業等をと連携した況 (A、Bいずれか	■主な就職先 (令和6年度本社AOK マネジメント ■民間の場合 ※ A :単位 (A :単位 総授	、業界等 生) Iホールディング 機関等から第三 はば以下について任 団体: ecc.ac.jp/departe 同による うち企業等 うち必修打 (うち企業 専の担 のを対 のを変える のを対	す、株式会社ニュー・ ・意記載 ment/design/graphic: 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 変要は関した実験・実 等と連携した実験・実 等と連携した実験・実 等と連携したな業等と連携した で変要等と連携した で変要等と連携した で変要等と連携した で変要が で変更をできる。 で変更をできる。 で変更をできる。 で変更をできる。 で変更をできる。 で変更をできる。 で変更をできる。 で変更をできる。 で変更をできる。 で変更をできる。 で変更をできる。 で変更をできる。 で変更をできる。 である。 である。 できる。 で	オータニ、 受審年月: ・実技のの ・実数 ・変数をのの実演プローンをで、 ・変数を多りました。 ・変数を多りを多めを多めを多めを多めを多りを多めを多めを多めを多めを多めを多めを多めを多めを多めを多めを多めを多めを多めを	株式会社・授業時数・実授業時数・実授業時数・実授業時数・実授業時数・実授業時数・実授業時数・	無 評価 ボー 実技の授業時数 数) 実技の授業時数 数	新結果を掲載した ームページURL	4, 500 å 2, 520 å 1, 700 å å 2, 520 å - å - å - å - å - å	単位時間 単位時間 単位時間 間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間	会社星野リゾート・				
学校評価 当該字科の ホームページ URL 企業等をと連携した況 (A、Bいずれか	■主な就職先 (令和6年度を社AOK マネジメント ■民間の場合 ※ (A:単位 を持 (B:単位 数を授	、業界等 生) Iホールディング 機関等から第三 はば以下について任 団体: ecc.ac.jp/departe 同による うち企業等 うち必修打 (うち企業 事の担の修文を主 のを発 の名を関 のを発 の表を定 の表を定 の表を定 の表を定 の表を定 の表を定 の表を定 の表を定	す、株式会社ニュー・ 語者評価: 意記載 ment/design/graphic: 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した 変異時数 「うち企業等と連携した で表す。 「おもでであった。」 「おきであった。」 「おきでは、「おきでは、「おきでは、「おきでは、「おきでは、「おきでは、「おきでは、「おきでは、「おきでは、「おきでは、「おきでは、「おきでは、「おきでは、「おきでは、「おきでは、「おきでは、「おきでは、「なきでは、これは、「なきでは、「なきでは、「なきでは、「なきでは、「なきでは、「なきでは、「なきでは、これは、「なきでは、これは、「なきでは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これ	オータニ、 受審年月: ・実技のの ・実数 ・変数をのの実演プローンをで、 ・変数を多の実演プローンをで、 ・変数を多の実演プローンをで、 ・変数を多の実演プローンをで、 ・変数を多いで、 ・変数を多いで、 ・変数を多いで、 ・変数を多いで、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・の	株式会社、 授業時数 受業時数 受業時数 受業時数 で授業時数 で授業時数 で授業時数 で授業時数	無 実技の授業時数 数) 実技の授業時数 数)	新 1号)	4, 500 à 2, 520 à 3 1, 700 à 3 2, 520 à 3 2, 520 à 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	会社星野リゾート・				
学校評価 当該字科のホームページ URL 企業等を連携した況 (A、記入)	■主な就職先 (令和6年在社AOK マネジメント ■ RE間の場合 ※ 有の場合 ※ 有の場合 ※ 相切 ・ Mttp://www.ne (A:単位 総授 ・ 数授 ・ で門して ② できます。 ・ できまする。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できますます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できまする。 ・ できまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	、業界等 生) Iホールディング 機関等から第三 ほは以下について任 団による 算定) 業時数 うちを企業等 うちを必修打 まよる 第定) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	す、株式会社ニュー・ 書者評価: 意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実活験と連携した演習の授業 要業時数 うち企業等と連携した 素等と連携した演習の授業 を連携した演習の授業 を実験を連携した。まず を主連携した表演 を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	オータニ、 受審年月: ・実技のの ・実数 ・変数をのの実演プローンをで、 ・変数を多の実演プローンをで、 ・変数を多の実演プローンをで、 ・変数を多の実演プローンをで、 ・変数を多いで、 ・変数を多いで、 ・変数を多いで、 ・変数を多いで、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・の	株式会社、 授業時数 習の授業時数 受業時数 受業等数 で専修学	無 実技の授業時数 数) 学校設置基準第41条第1項第	新結果を掲載した - ムページURL 第1号)	4, 500 ± 2, 520 ± 1, 700 ± 1, 700 ± 2, 520 ± 2, 520 ± 1, 700 ± 1,	単位時間 単位時間 単位は時間 関 単位位時間 関 単位位時間 関 単位位 は位 は位 は位 は位 は位 は位 は位 は位 は位 は し し し し	会社星野リゾート・				
学校評価 当該字科のホームページ URL 企業等をの実施状か (A、Bいずれか	■主な就職先 (令和6年社AOK マネジメント ■ A の B : 単位 ※ イの場合 評価に ・ M は B : 単位 ・ M で B : 単位 ・ M で B : 単位 ・ M で B : 単位	、業界等生) Iホールディング 機関等から第三任機関下について任意は以下に会になり、 Pec.ac.jp/departに による算定) 業時数 うちち必修打 (うち企業等) 「うち企企業等を担当修りを表した。 「うちを企業等を担当を担めを対した。」 専の程の年以上の学校教諭を表した。 「学校す業上といる。」 「学校す業上といる。」 「学校す業上といる。」 「学校す業上の学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学生の学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学生の学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学生の学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学生の学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教養を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教養を表した。」	す、株式会社ニュー・ 書書評価: 意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実活験と連携した演習の授業 要業時数 うち企業等と連携した ま等と連携した ま等と連携した 実習の授業 要はした。実習の授業 を連携したである。 までも、実際である。 までは、まずいる。 までは、まずいる。 までは、まずいる。まずいる。まずいる。まずいる。まずいる。まずいる。まずいる。まずいる。	オータニ、 受審年月: ・実技のの ・実数 ・変数をのの実演プローンをで、 ・変数を多の実演プローンをで、 ・変数を多の実演プローンをで、 ・変数を多の実演プローンをで、 ・変数を多いで、 ・変数を多いで、 ・変数を多いで、 ・変数を多いで、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・の	株式会社、 授業時数 習の授業時数 受業時数 ・実授業時数 ・実授業時数 ・「専修学	無 実技の授業時数 数) 学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第	新結果を掲載した - ムページURL 第1号) 第2号) 第3号)	4, 500 ± 2, 520 ± 1, 700 ± ± 2, 520 ± ± 2, 520 ± 1	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	会社星野リゾート・				
学校評価 当該字科のホーンページ URL 企業等のと連携を表した況へ、に記入)	■主な就職先 (令和6年在社AOK マネジメント ■ (令和6年代) ■ (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	、業界等生) Iホールディング 機関等から第三 機関下について任 の第三 とは、対 の第三 とは、対 の第三 とは、対 の第三 の第一 の第一 の第一 の第一 の数	す、株式会社ニュー・ 書書評価: 意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実活験と連携した演習の授業 要業時数 うち企業等と連携した ま等と連携した ま等と連携した 実習の授業 要はした。実習の授業 を連携したである。 までも、実際である。 までは、まずいる。 までは、まずいる。 までは、まずいる。まずいる。まずいる。まずいる。まずいる。まずいる。まずいる。まずいる。	オータニ、 受審年月: ・実技のの ・実数 ・変数をのの実演プローンをで、 ・変数を多の実演プローンをで、 ・変数を多の実演プローンをで、 ・変数を多の実演プローンをで、 ・変数を多いで、 ・変数を多いで、 ・変数を多いで、 ・変数を多いで、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・の	株式会社・ 授業時数 受業時数 である。 では、「中では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	無 実技の授業時数 数) 実技の授業時数 数) 学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	4, 500 å 2, 520 å 1, 700 å å 2, 520 å 2, 520 å 1, 700 å 1	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	会社星野リゾート・				
学校評価 当該なページ 小一の は と は ままま は まままままままままままままままままままままままままま	■主な和のKマネジメント (令和6年社AOKマネジメント) (令和6年社AOKマネジメント) (本有の場合 評価が (A:単位 を) (B:単位 を) (B:単位 を) (B:単位 を) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C	、業界等生) Iホールディング 機関等から第三任機関下について任意は以下に会になり、 Pec.ac.jp/departに による算定) 業時数 うちち必修打 (うち企業等) 「うち企企業等を担当修りを表した。 「うちを企業等を担当を担めを対した。」 専の程の年以上の学校教諭を表した。 「学校す業上といる。」 「学校す業上といる。」 「学校す業上といる。」 「学校す業上の学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学生の学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学生の学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学生の学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学生の学校教諭を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教養を表した。」 「学校教諭を表した。」 「学校教養を表した。」	す、株式会社ニュー・ 書書評価: 意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実活験と連携した演習の授業 要業時数 うち企業等と連携した ま等と連携した ま等と連携した 実習の授業 要はした。実習の授業 を連携したである。 までも、実際である。 までは、まずいる。 までは、まずいる。 までは、まずいる。まずいる。まずいる。まずいる。まずいる。まずいる。まずいる。まずいる。	オータニ、 受審年月: ・実技のの ・実数 ・変数をのの実演プローンをで、 ・変数を多の実演プローンをで、 ・変数を多の実演プローンをで、 ・変数を多の実演プローンをで、 ・変数を多いで、 ・変数を多いで、 ・変数を多いで、 ・変数を多いで、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・の	株式会社・ 授業時数 受業時数 である。 では、「中では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	無 実技の授業時数 数) 学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	4, 500 å 2, 520 å 1, 700 å 3 2, 520 å 2, 520 å 1, 700 å 2, 520 å	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	会社星野リゾート・				
学校評価 当該なページ 小一の は と は ままま は まままままままままままままままままままままままままま	■主な就職先 (令和6年在社AOK マネジメント ■ (令和6年代) ■ (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	、業界等生) Iホールディング 機関等から第三 機関下について任 の第三 とは、対 の第三 とは、対 の第三 とは、対 の第三 の第一 の第一 の第一 の第一 の数	す、株式会社ニュー・ 書書評価: 意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実活験と連携した演習の授業 要業時数 うち企業等と連携した ま等と連携した ま等と連携した 実習の授業 要はした。実習の授業 を連携したである。 までも、実際である。 までは、まずいる。 までは、まずいる。 までは、まずいる。まずいる。まずいる。まずいる。まずいる。まずいる。まずいる。まずいる。	オータニ、 受審年月: ・実技のの ・実数 ・変数をのの実演プローンをで、 ・変数を多の実演プローンをで、 ・変数を多の実演プローンをで、 ・変数を多の実演プローンをで、 ・変数を多いで、 ・変数を多いで、 ・変数を多いで、 ・変数を多いで、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・ので、 ・の	株式会社・ 授業時数 受業時数 である。 では、「中では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	無 実技の授業時数 数) 実技の授業時数 数) 学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	4, 500 å 2, 520 å 1, 700 å å 2, 520 å 2, 520 å 1, 700 å 1	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	会社星野リゾート・				
学校評価 当該コページ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	■主なAOK マネジメント ■※ A no A no	、業界等生) Iホールディング 機関等から第三 Eは以下で任 では以下で任 では、対 では、対 では、対 では、対 では、対 では、対 では、対 では、対	す、株式会社ニュー・ 「者評価: 意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携した うちを業務に従事した期間 する者等 と を を を を を を を を を を を を を を	オータニ、 受審年月: まかり、実技の 要素はの をいる。 要素はの をいる。 要素はの をいる。 要素はの をいる。 要素はの をいる。 要素はの をいる。 をいる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をな	株式会社・ 授業 時数 習業時数 習業時数 で 専修修・ で 専修修・ で で で で で で で で で で で で で で で で で で	無 実技の授業時数 数) 実技の授業時数 数) 学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第	新 第 1号) 第 2号) 第 3号) 第 3号) 第 3号)	4, 500 å 2, 520 å 1, 700 å 3 2, 520 å 2, 520 å 1, 700 å 2, 520 å	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	会社星野リゾート・				

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

IT分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施。カリキュラム検討メンバーが、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラム(案)を策定し、分科会で検討を進めてカリキュラムに反映させる。またIT分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、校長を委員長とし、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員、学科から委嘱された業界団体及び企業 関係者から3名以上を委員として構成する。本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、 実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企 業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。審議の結果を踏まえ、校長、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員 で検討し次年度のカリキュラム編成へ反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
前原 恵子	公益社団法人全国経理教育協会 試験作問委員	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	1
石原 謙司	ホテル オリエンタル エクスプレス東京蒲田 ホテルマネージャー	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	3
金山 雄太	ソニックス株式会社 ビジネスソリューション開発部長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	3
中村 英詞	日本工学院専門学校 校長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
兒島 正広	日本工学院専門学校 ITカレッジ カレッジ長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
三嶌 秀三	日本工学院専門学校 ITカレッジ 情報ビジネス科 科長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
遠藤 麻由	日本工学院専門学校 ITカレッジ 情報ビジネス科 主任	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月、9月)

(開催日時(実績))

第1回 2024年9月20日 Web会議方式

第2回 2025年3月28日 Web会議方式

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

昨年度と同様に、委員より専門学校の教育では知識中心の学習ではなく、「実践的な体験」や「技能の習得」など目標の位置づけや 企業連携についてご意見を頂いた。それを踏まえて下記の取組を実施しました。

- ■情報ビジネス科秘書事務eビジネスコース
- •TOKYO創業ステーション(ハブステーション) 特別講座
- ・羽田イノベーションセンターにて城南信用金庫様から資金計画、収支計画について特別講座
- ■ホテル・観光コース
- インターンシップ実施
- ・産学連携 宿泊プラン宿泊企画・販売実施
- ・各企業と連携した卒業研究

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

サービス分野に関する実践的な実習や演習を行うため、教育内容に関するノウハウや最新の動向における助言、または技術指導 などを受けられる企業を選定する。企業等との打合せにより、企業等のニーズに沿った実習内容や評価方法を設定し、目標を明確 にする。企業等からの派遣講師による実践的な実習・演習を実施後、企業等の派遣講師による評価に基づき、教員が成績評価・単 位認定を行う

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、学科の 内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施することにより、学生 指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

(= /) (111111111111111111111111111111111111111	
科 目 名	科 目 概 要	連携企業等
ビジネスプランニング 1・2	学外で行っている"ビジネスプラン"の入賞を目標に新規ビジネスのプランニングを考えます。	日本サードセクター経営者協会
ブランドマーケティング	(ノブントを衣切でさる刀を身につけまり	休式芸社生野リケート
イベント実習	産学連携にてイベント・ツアー企画を計画から実施まで行う力を 身につけます。	近畿日本ツーリスト株式会社
卒業研究	ホテル・観光業のイベント企画や新ブランド展開、業界の課題 解決などからテーマを選び、実践と研究を進めます。	株式会社星野リゾート三井不動産ホテ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、 学科の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施する ことにより、学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 教職員向けAI業務活用セミナー 連携企業等: 日本工学院 生成AI研究会

期間: 2024年7月25日 対象:情報ビジネス科教員、全教員

内容 生成AIの教育現場への活用方法について

②指導力の修得・向上のための研修等

連携企業等: 株式会社クリエイティブシフト 研修名: パターンランゲージ活用研修

期間: 2025年3月18日 対象:情報ビジネス科教員、全教員

内容 熟練者の実践知を「状況・問題・解決」の構造で言語化し、知識を他者と共有・活用する手法を学ぶ

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

生成AI、ICTツールを活かした教育 連携企業等: 0 研修名:

対象:情報ヒジネス科教員、全教 期間:

内容 生成AI、ICTツールを活かした教育の理解を深め、学生たちのスキル最大限に伸ばしていく教育を考える

②指導力の修得・向上のための研修等

10年後の専門学校生像と必要な能力ディスカッション 連携企業等: 0 研修名:

期間:

10年後の専門学校生像と必要な能力を検討し、その未来から逆算して、在学する学生への最適な関わり方や指導

内容 方法を設計する。 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、客観性や透明性を高める。学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする。

(2)「車修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念·目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献·地域貢献
(11)国際交流	(11)国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

精神面による体調不良に悩む学生に対しての当校のサポート体制について委員に現状を説明したところ、多くの委員から以下のご 意見を頂いた。

- ・企業内でも新入社員など若手が精神面による体調不良で就業に影響が出るケースが増えている。
- ・原因の一つとして、コロナ禍にあったここ数年で学生時代に人間関係構築の場が少なかった事も影響があるのではないか。 以上のご意見を踏まえ、当科では以下のように活用していく。
- ・在学中のみならず学生が社会に出てからも心身ともに健康に生活できるよう、学生時代にしか経験できない人間関係構築の場をより多くつくり、学業以外のイベントや部活動等に対しても支援に努めていく。
- ・当校には専門的な知識と経験を持つスタッフが在中するヘルスサポートセンターがあり、当科の担任は悩みを持つ学生に対して、 ヘルスサポートセンターとの連携をより強め、安心して学生生活を送れるよう支援に努めていく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
桂田 忠明	セントラル電子制御株式会社	令和7年4月1日	IT企業等委員/卒
	最高顧問	~令和8年3月31日(1年)	業生委員
正木 英治	株式会社マックス	令和7年4月1日	地域関連/
	専務取締役	~令和8年3月31日(1年)	会計専門委員
壶阪 敏秀	株式会社テレビ神奈川 取締役・編成局長兼報道 局長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	クリエイターズ企業 等委員/卒業生委 員
小澤 賢侍	CG-ARTS協会(公益財団法人 画像情報教育振興協会)	令和7年4月1日	クリエイターズ/デ
	教育事業部教育推進グループセクションチーフ	~令和8年3月31日(1年)	ザイン企業等委員
吉崎 彰	一般社団法人 大田工業連合会	令和7年4月1日	テクノロジー
	事務局長	~令和8年3月31日(1年)	企業等委員
田山 順一	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 常務理事	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	ミュージック 企業等委員
宮地 裕	学校法人上野塾 東京実業高等学校 進路指導部部長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	学校関連

))

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・ 広報誌等の刊行物・ その他(

URL: https://www.neec.ac.jp/public/

公表時期: 令和7年9月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する 情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問 題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計 算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は法人経理部において取扱い、「学校 法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

	<u> </u>
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(2)各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3)教職員	教員·教員組織
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5)様々な教育活動・教育環境	施設·設備等
(6)学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7)学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8)学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9)学校評価	学校評価
(10)国際連携の状況	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(11)その他	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿

※(10)及び(11)については任意記載。 (3)情報提供方法

(ホームページ) 広報誌等の刊行物 ・ その他(

))

URL: https://www.neec.ac.jp/public/

公表時期 令和7年9月30日

授業科目等の概要

				課程 情報ビジネス	科)			ı	┃ 授業方法 ┃ 場所 ┃					- 教員			
		分類	Į			配	授		実				場	rπ	叙	貝	企
		`55	_			当年	業	単	講	油	験 •	++	++	=	兼	企業	
	必	選択	由	授業科目名	授業科目概要	次		位	舑	洪	実	仪	仪	守	来	ے	
	修		選切			• 学	時	数	義	驷	習•	内	М	红	任	の連	
			אנ			期	数	**	我	П	実技	173	71	ц	1	携	
1	0			Office実習 1	文書作成ソフトの操作を学び、Office系検定 試験の合格を目指します。	1· 前	60	2			0	0		0		0	
2	0			Office実習 2	表計算ソフトの操作を学び、Office系検定試 験の合格を目指します。	1· 後	60	2			0	0		0		0	
3	0			キャリアデザイン 1	就職するにあたっての心構えや、自分に合った仕事の見つけ方、実際の就職活動に必要な事柄を学びます。	1 • 前	45	3	0			0		0		0	
4	0			キャリアデザイン 2	筆記試験対策や個人面談等、就職活動対策を 強化します。	1· 後	45	3	0			0		0		0	
5			0	プレゼンテーショ ン	様々な表現力を理論的に学び、履歴書の書き 方や面接対応等のショートプレゼンスキルを 身につけます。	1· 前	45	1			0	0		0	0	0	
6			0	e コマース演習 1	商品やサービスをインターネット上で売買す るビジネスモデルについて学びます。	1 • 後	45	2	0			0					
7			0	ICT活用1	基本的なコンピュータの操作、クラウドサービス等のITツールの活用方法を実践的に学びます、	1 • 前	30	1			0	0					
8			0	ICT活用2	基本的なコンピュータの操作、クラウドサービス等のITツールの活用方法を実践的に学びます、	1 · 後	30	1			0	0					
9			0	データ分析 1	様々なデータから有益な情報を探し出し、改 善に役立てる取り組み方法を学びます。	1· 後	30	2	0			0		0		0	
10			0	ビジネス能力 1	社会人に必要なビジネス系一般知識の基礎を 学び、検定合格を目指します。	1· 前	45	3	0			0		0			
11			0	ビジネス能力2	「ビジネス能力1」で学んだことを基に、上 級の検定合格を目指します。	1 • 後	45	3	0			0		0			
12			0	ロジカルシンキン グ	物事を体系的に整理して道筋えお立て、矛盾 なく考える論理的思考力について学びます。	1 • 前	30	1	0			0					
13			0	マーケティング 1	流通や商品化、顧客のニーズといったマーケティングの基本概念を知り、様々な業界や業態について学びます。	1 · 後	30	2	0			0		0		0	
14			0	ワークショップ 1	グループワークを通じて、相手の意見を受け 入れ、自身の意見を相手に伝え、協力して成 果物を作成します。	1 · 前	30	1			0	0		0			
15			0	ワークショップ2	グループワークを通じて、相手の意見を受け 入れ、自身の意見を相手に伝え、協力して成 果物を作成します。	1· 後	30	1			0	0		0			
16			0	一般教養・時事問 題 1	社会人としての必要な一般上常識の知識を理 解する。	1· 前	30	2	0			0		0			
17			0	一般教養・時事問 題 2	社会人としての必要な一般上常識の知識を理 解する。	1· 後	30	2	0			0		0			
18			0	資格対策 1	各種、検定試験対策等を行います。	1· 前	30	2	0			0		0			
19			0	資格対策 2	各種、検定試験対策等を行います。	1· 後	30	2	0			0		0			
20			0	接客サービス 1	サービスの定義や対人技能等の基礎について 学びながら、検定合格を目指します。	1· 前	45	3	0			0		0			

								場	教	教員					
	必	選択必修	自由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	実験・実習・実技	校	校外	専	兼	との
21			0	接客サービス 2	「接客サービス1」で学んだことを基に、上 級の検定合格を目指します。	1 · 後	45	3	0		0		0		
22			0	秘書 1	「接遇力」といったビジネスパーソンとして の基本を学びながら、自身の成長と検定合格 を見ちれま丸調」や「ロンホスマナー」、	1· 前	45	3	0		0		0		
23			0	秘書2	「「接遇力」といったビジネスパーソンとして の基本を学びながら、自身の成長と検定合格 を日均します	1· 後	45	3	0		0		0		
24			0	簿記会計 1	企業の経理事務に必要な会計知識や、財務諸 表を読む力などを学びます	1· 後	60	4	0		0		0		
25			0	簿記基礎	簿記や経理の基本概念を学んだうえで、商業 簿記の基礎を学びます。	1· 前	30	2	0		0		0		
26			0	コンテンツ加工	ホームページの作成方法を学びます。また、 画像編集ソフトの使い方を学びます。	2· 後	45	3	0		0		0		
27			0	スポーツ実習 1	スポーツ合宿等を通してコミュニケーション を図ります。	1· 通	30	1		0		0	0		
28			0	インターンシップ 1	一定期間企業等で研修生として働き、関心あ る職業の体験を通し見聞を広げます。	1· 通	30	1		0		0		0	0
29			0	インターンシップ 2	一定期間企業等で研修生として働き、関心あ る職業の体験を通し見聞を広げます。	1· 通	60	2		0		0		0	0
30			0	インターンシップ 3	一定期間企業等で研修生として働き、関心あ る職業の体験を通し見聞を広げます。	1· 通	150	5		0		0		0	0
31			0	インターンシップ 4	一定期間企業等で研修生として働き、関心あ る職業の体験を通し見聞を広げます。	1· 通	300	10		0		0		0	0
32			0	業界研究 1	ホテルや観光、空港系ビジネスや小売業な ど、様々な業界の視察や分析、考察をしま す。	1· 前	15	1	0		0		0		0
33			0	業界研究 2	ホテルや観光、空港系ビジネスや小売業な ど、様々な業界の視察や分析、考察をしま す。	1· 後	15	1	0		0		0		0
34			0	校外研修 1	最新の情報・技術に触れるために、各種展示 会や施設見学等を行います。	1· 前	30	1		0		0		0	0
35			0	校外研修 2	最新の情報・技術に触れるために、各種展示 会や施設見学等を行います。	1· 後	30	1		0		0		0	0
36			0	特別講座 1	各業界で活躍している人を講師として招き、 特別講義を通して見聞を広げます。	1· 前	15	1	0		0		0		0
37			0	特別講座 2	各業界で活躍している人を講師として招き、 特別講義を通して見聞を広げます。	1· 後	15	1	0		0		0		0
38			0	販売演習 1	接遇やマナー、売り込み戦略など、学習した ことを実践的に体験します。	1· 通	30	2	0		0		0		0
39			0	レストランサービ ス 1	ホテル業界の国家資格であるレストランサー ビス技能検定の3級合格を目指し学習しま す。	1· 後	45	3	0		0			0	0
40			0	イベント実習 1	ホテルのイベント企画から実施まで他学科や 地域、業界などと連携して行います。	1· 通	30	1		0	0		0		0
41			0	ホスピタリティ・ マネジメント	コンシェルジュに求められる、柔軟な行動原 理、内面的な教育によって心の底からの配慮 を学びます。	1· 後	30	2	0		0			0	0

	(工業専門課程 情報ビジネス科) 分類									場	댦	教員				
	必	選択必修	自由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演	実験・実習・実	校	/// 校	専	兼	企業等との連携
42			0	英語基礎 1	英語を聞いたり、話したり、親しみながら状 況を理解し、英語で聞かれたことに対して文 章で応えられるように聞く力、話す力を身に つけます。	1· 前	30	2	0		技	0			0	
43			0	英語基礎 2	英語を聞いたり、話したり、親しみながら状 況を理解し、英語で聞かれたことに対して文 章で応えられるように聞く力、話す力を身に つけます。	1· 後	30	2	0			0			0	
44			0	TOEIC対策 1	TOEICスコア 500 点を目指して学習します。	1· 後	45	3	0			0			0	0
45			0	TOEIC対策 2	TOEICスコア 500 点を目指して学習します。	1· 前	45	3	0			0			0	0
46			0	イベント実習 2	ホテルのイベント企画から実施まで他学科や 地域、業界などと連携して行います。	1· 通	30	1			0	0		0		0
48			0	ホテル管理システ ム 1	フロントシステム(宿泊予約管理)について 学びます。	1· 前	60	2			0	0		0		0
49			0	ホテル管理システ ム 2	売掛システムを中心にPMS Property ManagementSystem)の一貫したシステムを学 びます。	1· 後	60	2			0	0		0		0
50			0	ホテルIT経営	これからのホテル宿泊産業に求められる経営 知識について学びます。	1· 後	60	4	0			0			0	0
51			0	ホテル概論	ホテル産業の基礎となる知識を習得し異なる 複数の事業体が存在するホテル事業の特長を 理解します。	1· 前	45	3	0			0			0	0
52	0			キャリアデザイン 3	就職活動支援に主眼を置き、自己分析や企業 分析、さらには筆記試験対策や面接指導等を 行います。	2· 前	45	3	0			0		0		
53			0	キャリアデザイン 4	効率的に仕事を進める方法やキャリアップに 役立つスキルを学びます。	2· 後	45	3	0			0		0		
55			0	コンテンツ加工 2	画像、動画や音声データなどの加工方法を学 びます。	2 • 後	30	2			0	0		0		
56			0	ネットショップ演 習	ネットショップを開設、運営するサイトの構 築について学びます。	2 · 後	60	2			0	0		0		
57			0	ネットビジネス	インターネットを使い、商品やサービスを販売し利益を得るビジネスの仕組みについて学 びます。	2 • 後	15	1								
58			0	Office実習3	Office系ソフトを活用し、より実践的な実務 に近い内容を学びます。	2· 前	60	2			0	0		0		
60			0	データ分析 2	様々なデータから有益な情報を探し出し、改善に役立てる取り組み方法を学びます。	2· 前	30	2	0			0		0		
61			0	コミュニケーショ ン 1	要となる「対人スキル」「目標達成スキル」 について身につけるために、必要事項、解説 を労養業では私去人として仕事をするエで必	2· 前	30	1			0	0		0		
62			0	コミュニケーショ ン2	要となる「対人スキル」「目標達成スキル」 について身につけるために、必要事項、解説 <u>本学でますの必要でいる知識や探性力法で子</u>	2· 後	30	1			0	0		0		
63			0	パソコン活用 1	び、ビジネスや個人生活で必要とされる各種 ソフトウェアやツールを使いこなす能力を学 びます	2· 前	30	1			0	0		0		
64			0	パソコン活用2	コンピュータの基礎的な知識や操作方法を学び、ビジネスや個人生活で必要とされる各種ソフトウェアやツールを使いこなす能力を学びます。	2· 後	30	1			0	0		0		
65			0	ビジネスプランニ ング 1	企動書などのスキルを学びながら地域社会で 求められるニーズを調査し、新しいビジネス モデルを創造しコンテストにエントリーしま す。	2· 前	90	6	0			0		0	0	0

				課程 情報ビジネス	科)									18 =		
	H	分類				配	授		授業方法		場	所	教	員	企	
	必	選択	由	授業科目名	授業科目概要	当年次	業	単位	講	演	験 • 実	校	校	専	兼	業等と
	修	必修	選択			· 学 期	数	数	義	習	習・実技	内	外	任	任	の連携
66			0	ビジネスプランニ ング 2	企画書などのスキルを学びながら地域社会で 求められるニーズを調査し、新しいビジネス モデルを創造しコンテストにエントリーしま す。	2· 後	90	6	0			0		0	0	0
67			0	ファイナンシャル プランニング 1	個人の収支・負債・家族構成・資産状況など から、将来のライフプランニングに即した資 金計画やアドバイス方法を学びます。	2· 前	45	3	0			0		0		0
68			0	ファイナンシャル プランニング 2	個人の収支・負債・家族構成・資産状況など から、将来のライフプランニングに即した資 金計画やアドバイス方法を学びます。	2· 後	45	3	0			0		0		0
69			0	プロモーション実 践	製品・サービスについて消費者が購買意欲を 起こさせるための手法について学び、グルー プワークを行います。	2· 後	30	2	0			0		0		0
70			0	マーケティング 2	「マーケティング1」で学んだことを基に、 売れるしくみについて考えを掘り下げます。	2· 前	30	2	0			0		0		0
71			0	資格対策 3	検定試験対策等を行います。	2· 前	30	2	0			0		0		
72			0	資格対策 4	検定試験対策等を行います。	2· 後	30	2	0			0		0		
73			0	秘書3	「ビジネス知識」や「ビジネスマナー」、 「接遇力」といったビジネスパーソンとして の基本を学びます。	2· 前	45	3	0			0		0		
74			0	秘書 4	「ビジネス知識」や「ビジネスマナー」、「接遇力」といったビジネスパーソンとしての基本を学びます。	2· 後	30	2	0			0		0		
75			0	簿記会計 2	経理事務に必要な会計知識や、財務諸表を読む力などを学び、経理の実践感覚を養います。	2· 前	60	4	0			0		0		
76			0	簿記会計 3	経理事務に必要な会計知識や、財務諸表を読む力などを学び、経理の実践感覚を養います。	2· 後	60	4	0			0		0		
77			0	スポーツ実習 2	スポーツ合宿等を通してコミュニケーション を図ります。	2 • 通	30	1			0		0	0		
78			0	インターンシップ 5	一定期間企業等で研修生として働き、自分の 将来に関連する職業体験を行います。	2· 通	30	1			0		0		0	0
79			0	インターンシップ 6	一定期間企業等で研修生として働き、自分の 将来に関連する職業体験を行います。	2· 通	60	2			0		0		0	0
80			0	インターンシップ 7	一定期間企業等で研修生として働き、自分の 将来に関連する職業体験を行います。	2· 通	150	5			0		0		0	0
81			0	インターンシップ 8	一定期間企業等で研修生として働き、自分の 将来に関連する職業体験を行います。	2· 通	300	10			0		0		0	0
82			0	サービス介助	サービス介助として高齢者、障がい者への応対方法を学びます。	2· 後	15	1	0			0		0		
83			0	応急手当	応急手当の方法としてAEDの使い方、気道異物除去の方法、倒れている人の対応などを学びます。	2· 後	15	1	0			0		0		
84			0	業界研究3	事務職、営業職、販売職、ホテル観光などの職業が活躍する様々な業界の視察や分析、考察をします。	2· 前	15	1	0			0		0		0
85			0	業界研究 4	事務職、営業職、販売職、ホテル観光などの職業が活躍する様々な業界の視察や分析、考察をします。	2· 後	15	1	0			0		0		0
86			0	校外研修3	最新の情報・技術に触れるために、各種展示 会や施設見学等を行います。	2· 前	30	1			0		0	0		

		L業 分類		課程 情報ビジネス	(科) 				ゼ	後業ス	5法	堤	所	教	日	
	必	選択必修	自由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演	実験・実習・実技	校	// 校	専	兼	企業等との連携
87			0	校外研修 4	最新の情報・技術に触れるために、各種展示 会や施設見学等を行います。	2· 後	30	1			0		0	0		
88			0	特別講座 3	各業界で活躍している人を講師として招き、 特別講義を通して見聞を広げます。	2· 前	15	1	0			0			0	0
89			0	特別講座 4	各業界で活躍している人を講師として招き、 特別講義を通して見聞を広げます。	2· 後	15	1	0			0			0	0
90			0		販売に必要な商品知識や販売技術、仕入や在 庫管理などを学び、検定合格を目指します。	2· 前	60	4	0			0		0		
91			0	ブランドマーケ ティング	マーケティングの理解を元に、ブランドを構 築してく為の知識を学びます。	2· 前	30	2								
92			0	ホテルビジネス英 語 1	ホテル接客接遇場面に特化した英語を学びま す。	2· 前	45	3	0			0			0	
93				ホテルビジネス英 語 2	ホテル接客接遇場面に特化した英語を学びま す。	2· 後	45	3	0			0			0	
94				ス&コンベンショ	ホテルの売上の大きな割合を占める宴会やブライダルについてマーケティングの観点から 学びます。		30	1			0	0		0		
95				レストランサービ ス 2	ホテル業界におけるレストランサービスの基本的な知識や技能を習得し、国家資格であるレストランサービス技能検定3級の取得を目指します。	2· 後	45	3			0			0		0
96				ファシリティリス クマネジメント	ホテルという施設、及びホテル運営における リスクについて学び、それぞれ適切に管理・ 運営していく経営活動について 学びます。	2· 後	30	1			0			0		
97					イベント企画を通じて、チームでの協力や問題解決能力を養い、実際の職業環境で求められる能力を向上させます。	2· 後	30	1			0			0		0
98				ICTビジネス活用	通信技術を活用したコミュニケーションを活用するためにインターネット通信技術を利用した産業やサービスの仕組みについて学びます。	2· 後	45	4			0			0		
99				ネットショップ演 習	ネットショップの開業方法から集客や宣伝の やり方、売れるようになるまで手順を学びま す。	2· 後	60	4		0				0		
100				ネットショップ法 規	ネットで収益をあげるビジネスモデルについ て企業を取り上げ研究します。	2· 後	15	1	0					0		
101					コンシェルジュやホスピタリティ人材に求められる、柔軟な行動原理、特に内面的な教育によって心の底からの配慮を学 びます。	2· 後	30	4			0			0		
102				ДЗ	ホテル管理1、2の総復習と応用を学びます。	2· 後	60						0			
			2	計	102	2 ₹	•									
					卒業要件及び履修方法			授業期間等								

	卒業要件及び履修方法	授業期間等	Ē
卒業要件:	卒業時に必修科目255時間、選択科目1445時間以上を取得し、合計1,700時間以 上を取得すること。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法:	1年次は必修210時間、選択科目690時間以上履修すること 2年次は必修45時間、選択科目755時間以上履修すること	1 学期の授業期間	15 週

(工業専門課程 情報ビジネス 分類				117					授業方法		5法	場所		教員		
必	選択必	自由選	授業科目名	授業科目概要		配当年次・	授業時	単位	講	演	実験・実習	校	校	専	兼	企業等との
修	修	択				学期	数	数	義	習	・実技	内	外	任	任	連携

¹ 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

² 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。